

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09040070

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成23年度～ 買物環境向上事業 計画内容:買物弱者に対する移動販売等の補助 平成29年度～ 地域ふれあい移動コンビニ展開支援事業 計画内容:大型車両導入による移動コンビニ展開への補助
基本施策	4 商工業の振興	事業優先度	A	
単位施策	3 町民を支える商店街づくりへの支援	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	地域の拠点における購買・福祉・コミュニティ機能向上事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	2 財務企画課 5 保健福祉課	
事業指標	移動コンビニ設置拠点数	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	3箇所(地区)	関係例規・法令名		
住民参加	無	関係個別計画名		

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容					
計 画 内 容	商工会に対する補助金 1 買物弱者に対する移動販売事業に対する補助金 2 商業活性化事業に対する補助金 3 副次的効果として、高齢者安否確認に対する補助金	○人件費 1,120千円 ○車両関係費 1,300千円 車両リース代、燃料代 ○通信事務費 180千円 消耗品他 ○広告宣伝費 300千円 チラシ、DM代 ○雑費 100千円 上記経費の80%補助	○人件費 1,120千円 ○車両関係費 1,300千円 車両リース代、燃料代 ○通信事務費 180千円 消耗品他 ○広告宣伝費 300千円 チラシ、DM代 ○雑費 100千円 上記経費の80%補助  ※事業効果の検証	○人件費 1,600千円 ○車両関係費 510千円 車両リース代、燃料代 ○通信事務費 100千円 消耗品他 ○広告宣伝費 150千円 チラシ、DM代 ○食品管理費 300千円 ○雑費 40千円 上記経費に対する定額補助	○買物環境向上事業 事業費:2,400千円 人件費、車両関係費他 ※事業効果の検証  ○地域ふれあい移動コンビニ 展開支援事業 事業費:10,514千円 人件費、車両リース料他	○買物環境向上事業 事業費:2,400千円 人件費、車両関係費他 ※事業効果の検証  ○地域ふれあい移動コンビニ 展開支援事業 事業費:10,514千円 人件費、車両リース料他	
	事業費(千円)	32,628	2,400	2,400	2,000	12,914	12,914
計 画 事 業 費	財源内訳	11,264			5,632	5,632	
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	21,364	2,400	2,400	2,000	7,282	7,282
実 績 事 業 費	事業費(千円)	21,680	2,400	2,400	2,000	2,400	12,480
	財源内訳	5,582					5,582
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	16,098	2,400	2,400	2,000	2,400	6,898	
関 連 事 項	特定財源の名称 地方創生推進交付金	【評価・実績】	(実施内容等) 事業費に係る80%を補助	(実施内容等) 事業費に係る80%を補助	(実施内容等) 事業費に係る80%を補助	(実施内容等) 事業費に係る80%を補助	(実施内容等) 事業費に係る80%を補助 拠点販売事業実施に係る事業費を補助
			※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 C-継続/内容の見直し・変更	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	登録会員数100件	登録会員数100件	登録会員数100件	移動コンビニ設置拠点数3箇所	移動コンビニ設置拠点数3箇所
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	100%	100%	100%	19%	97%
	全体達成率	7%	15%	21%	28%	66%	
	備考欄						

事業名	地域の拠点における購買・福祉・コミュニティ機能向上事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	福田 泰弘

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	登録会員数								
【抱える課題やニーズは】	市街地、郊外地区の居住者で交通手段の持たない高齢者、独居老人世帯が増加している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	拠点販売事業による買物弱者の解消と町民の買物環境向上、地域コミュニティの活性化。	① 登録会員数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>100人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>137人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>137.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	100人	実績値	137人	達成度	137.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	100人										
実績値	137人										
達成度	137.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	巡回先の住民支援及び商工業者の活力の向上。	② 移動コンビニ設置拠点数3箇所	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>3箇所</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>3箇所</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	3箇所	実績値	3箇所	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	3箇所										
実績値	3箇所										
達成度	100.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	「買物環境向上事業」実施に係る補助	買物に不便を強いられている高齢者等への御用聞き及び宅配事業に対する事業費補助(80%)									
	「地域の拠点(小さな拠点)における購買・福祉・コミュニティ機能向上事業」実施に係る補助	国の交付金を活用し、冷凍・冷蔵機能を持つ2トントラックロングを改造した移動式の「地域のふれあい拠点」を導入し、集落地域の地区住民センターなどを拠点として、毎週定期的に出向いて日用品や生鮮品の販売、代行サービスなどを行った。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	商店街での買い物に不便を強いられている高齢者や商工業者の活力の向上を目指すためにも本事業の補助は必要と判断される。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	拠点販売の実施により各地区から事業実施の要望が多く、登録会員数も増加傾向にあり、高齢者等の利便性が図られている。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	買物弱者への利便性の向上ばかりでなく、事業者及び商店街全体の活性化の一助となっている。また、訪問による安否確認など、地域福祉の増進にも寄与している。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	実施主体である商工会並びに加盟店への負担があること、商店街での買い物に不便を強いられている高齢者等へ実施している事業であること(登録に関する負担はない)などから、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
高齢者等の買物環境の利便性及び町内商店の活性化の一助となる重要な事業である。また、拠点販売の実施により各地区から事業実施の要望が多く、登録会員数も増加している。		

今後の展開方向  
(Action)

<b>継続/現状維持</b>		
拠点販売の実施により更なる買物環境の利便性向上が図られ、また、各地区から事業実施の要望が多く、登録会員数も増加傾向にあることから、今後も継続して事業を進めることが適当である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了  休止  廃止